

労働災害の防止について

「ゴールは無事故・無災害！～チームで勝ち取る安全職場～」

葛城労働基準監督署
安全衛生課



\\

講習会の概要

/\

講習の目的と全体構成

- ・講習の目的

運送業の安全意識向上を目指し、荷役作業と交通災害防止に焦点を当てています。

- ・運送業の危険要因

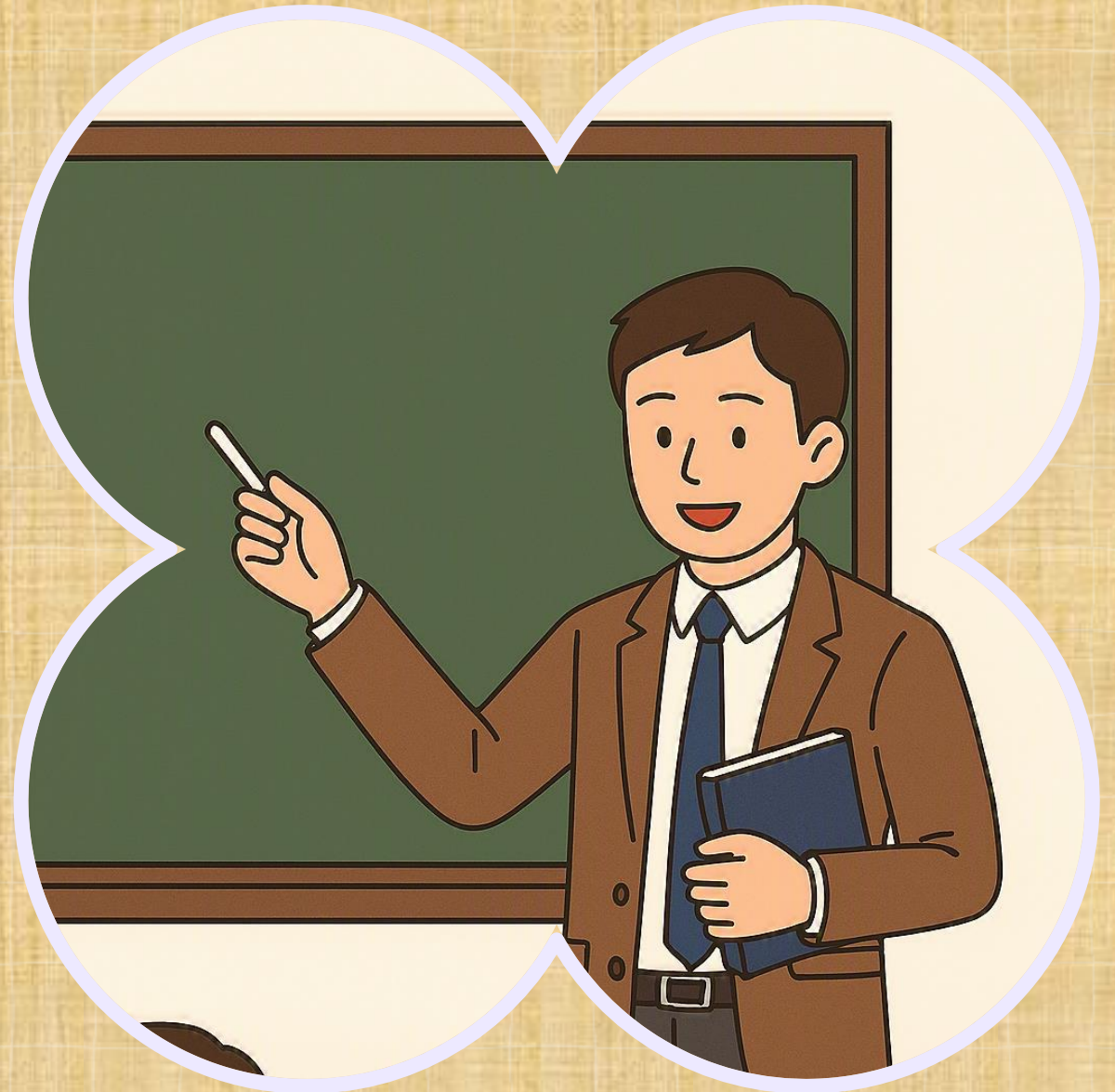
積み込みや構内移動など多様な作業には多くの潜在的危険が存在します。

- ・労働災害の特徴と対策

災害の特徴を整理し、荷役作業のリスクと具体的な安全対策を解説します。

- ・現場での実践ポイント

即実践可能な交通労働災害防止のポイントを紹介し、行動変容を促します。

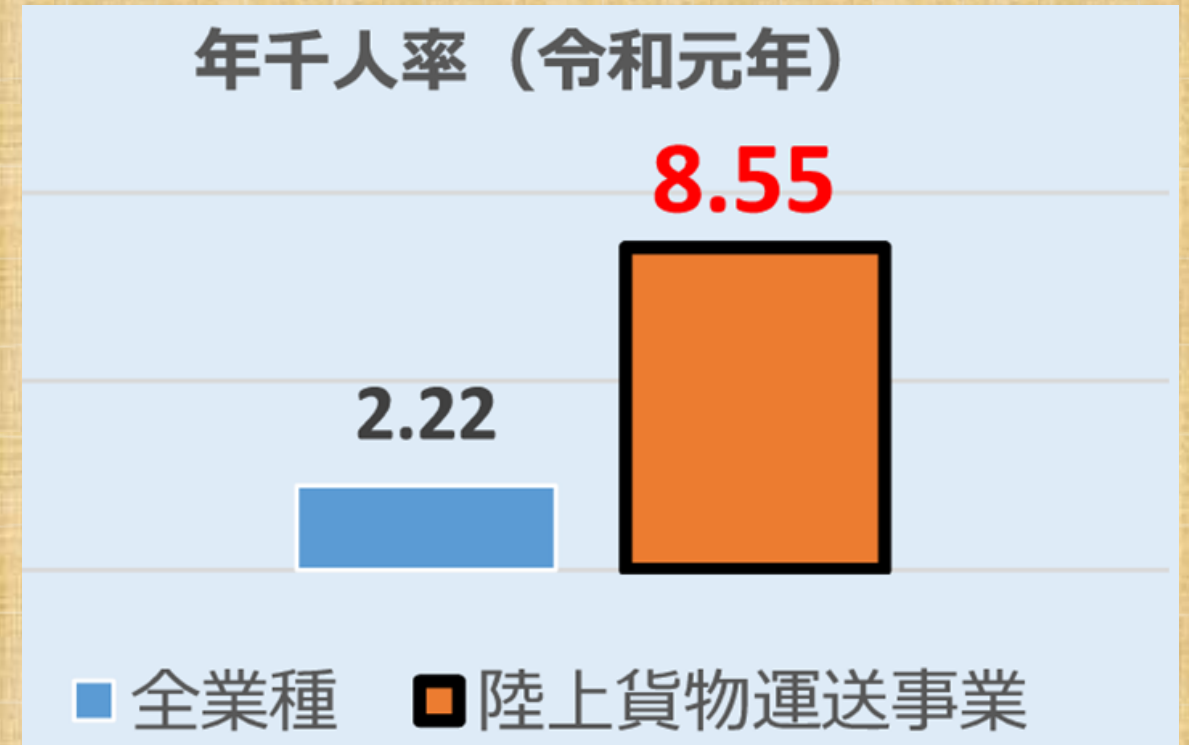
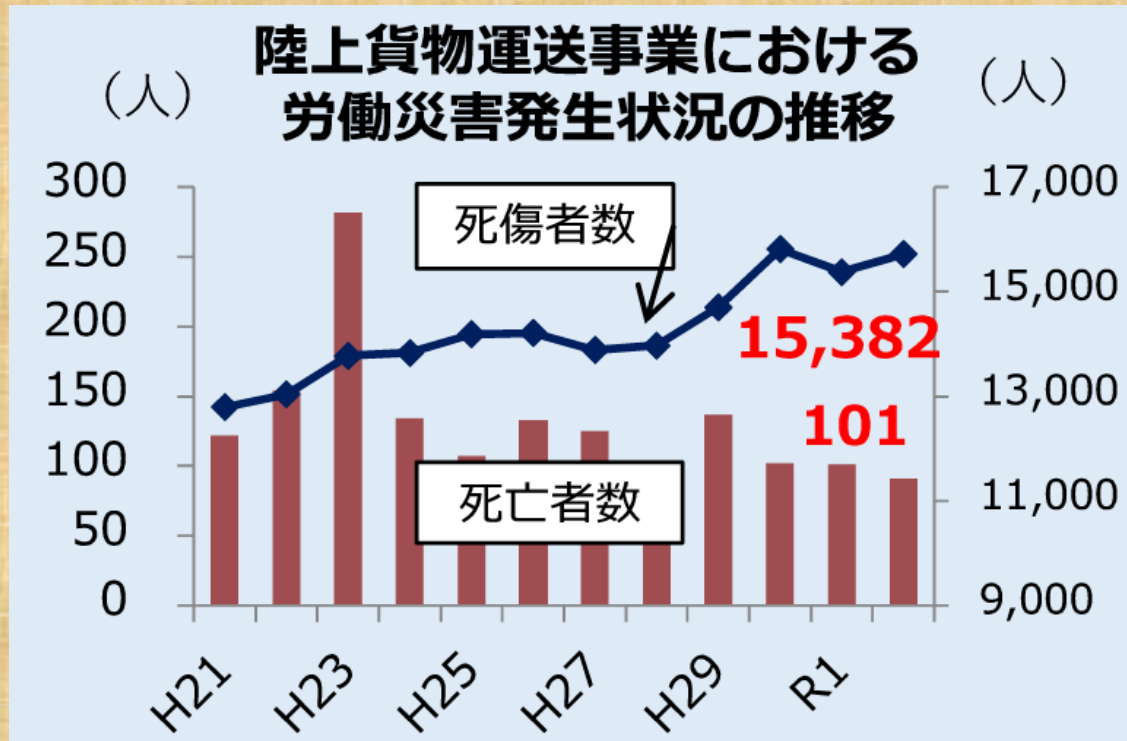


\\

運送業に多い労働災害

/ \

運送業における労働災害の傾向



運送業の主な労働災害の特徴

・荷役作業中の災害

荷役作業では転倒・転落や荷物による挟み込み、腰痛などの筋骨格系障害が多く発生します。

・交通労働災害の特徴

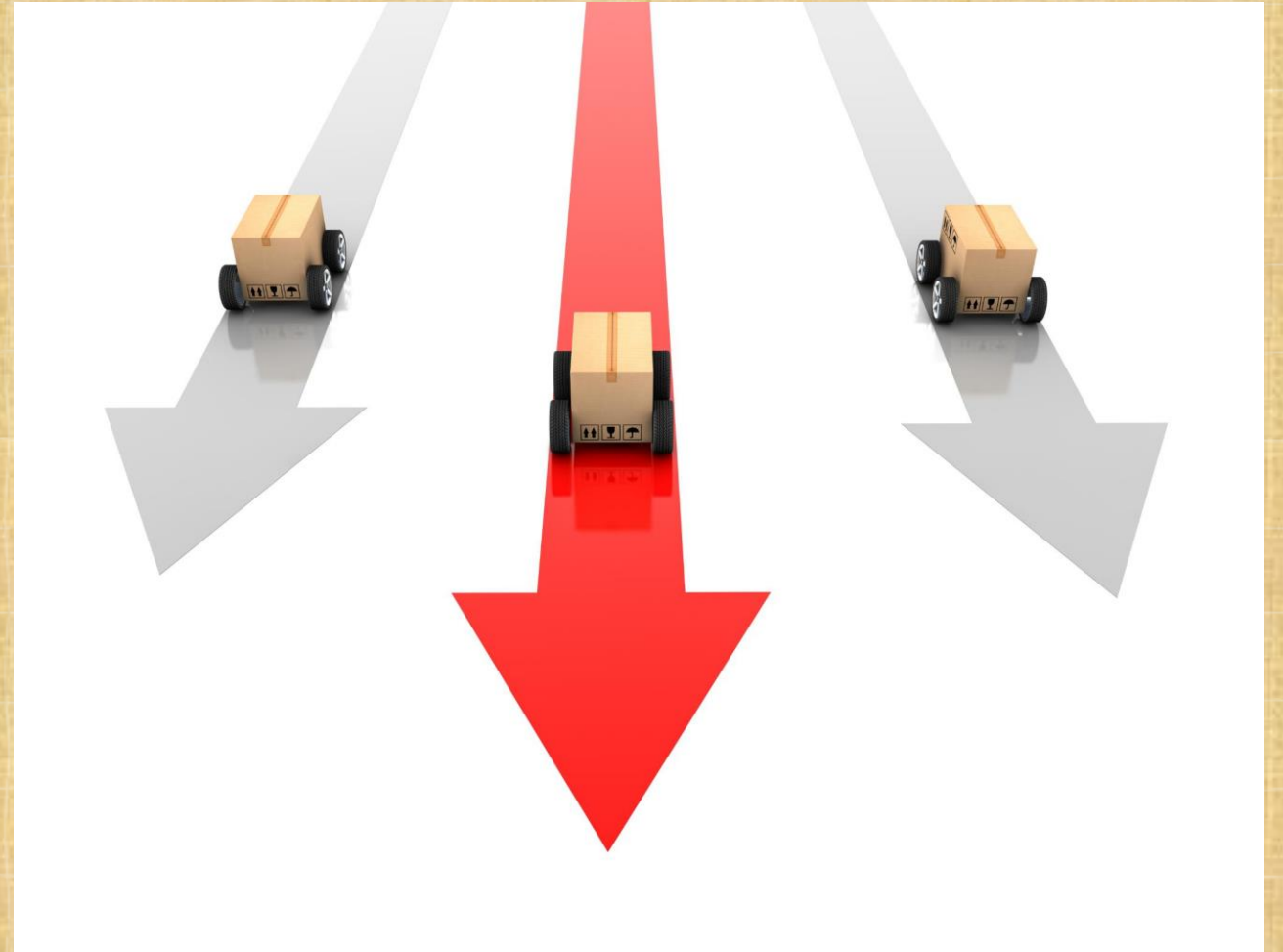
長時間運転による疲労や注意力低下、わき見運転などが重大事故につながる原因となります。

・事故の社会的影響

事故は自分だけでなく他車両や歩行者も巻き込み、社会的影響が大きい特徴があります。

・安全意識の重要性

経験年数に関係なく、常に安全意識を持ち、慣れによる油断を防ぐことが重要です。



\\

荷役作業の安全

/

荷役作業に潜む主なリスク

- ・ 転落と転倒の危険

トラックの荷台やあおりからの転落、雨や油で滑りやすい床での転倒が主要な事故原因です。

- ・ 荷崩れによる事故

不安定な積み荷が崩れると、身体を強打したり下敷きになる危険があります。

- ・ 車両接触・巻き込まれ

フォークリフトやハンドリフトとの接触や巻き込まれ事故が多発しています。

- ・ 慢性的な身体障害

無理な重量物の持ち上げや不自然な姿勢は腰痛など慢性的障害を招きます。



荷役作業における基本的な安全対策

- ・適切な保護具の着用

安全靴、手袋、ヘルメットなどの適切な保護具着用が事故の被害軽減に効果的です。

- ・作業前の安全確認

周囲環境や床面、荷物の積み方を事前に確認し、危険を未然に防止します。

- ・協力と機械活用

重量物は複数人で協力または機械を使い、無理な単独作業を避けることが重要です。

- ・コミュニケーションの徹底

フォークリフト運転者と作業者間で意思疎通を図り、安全区域を明確にします。

※陸上貨物運送事業における荷役作業の安全対策ガイドライン



\\

交通労働災害の防止

/ \

交通労働災害 の現状と原因

・疲労と眠気の影響

長時間運転や夜間運行は疲労と眠気を招き、判断力と注意力を低下させ事故リスクを高めます。

・危険運転行動の誘因

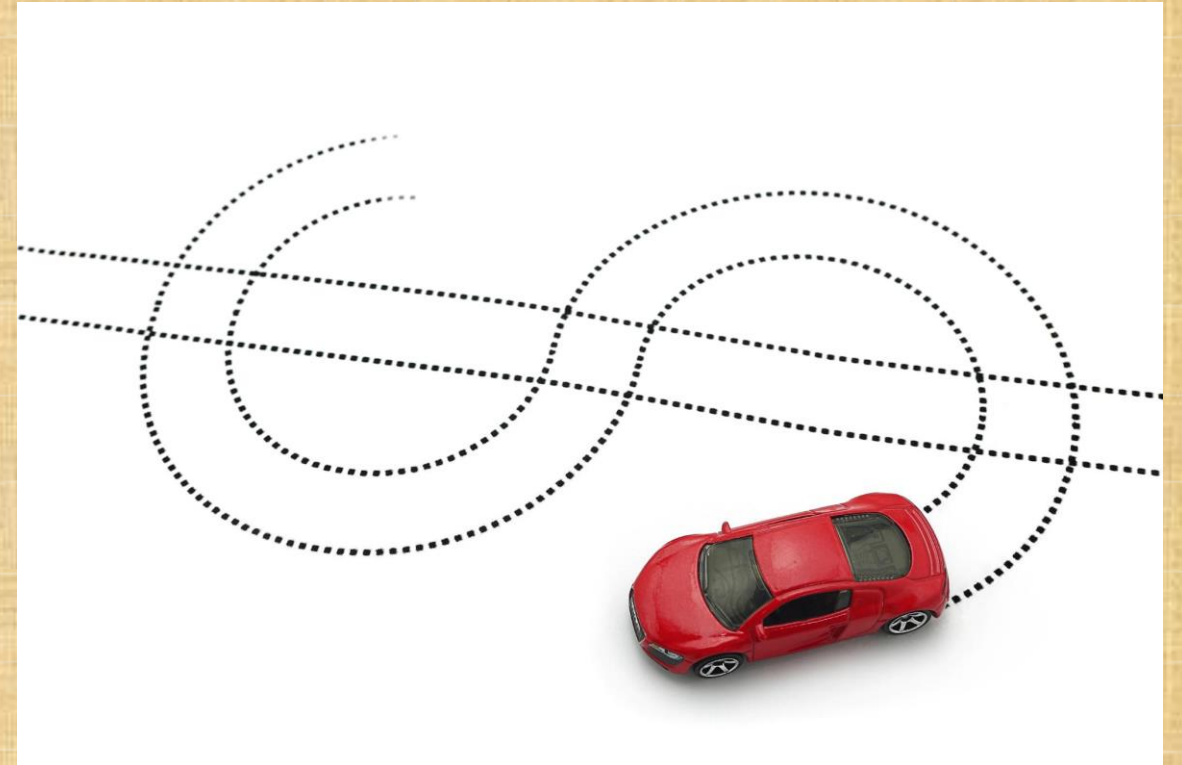
納期のプレッシャーにより速度超過や無理な追い越し、信号無視などの危険行動が増加します。

・交差点での事故多発

交差点では出会い頭や右左折時の巻き込み事故が多発し、安全確認の徹底が必要です。

・わき見運転の危険

スマートフォン操作やカーナビ注視などのわき見運転は重大事故の大きな原因となっています。



交通労働災害を防ぐための実践ポイント

- ・体調確認と休憩の重要性

出発前に体調を確認し、不調時は無理をせず運転中はこまめに休憩を取り疲労を防止します。

- ・安全な車間距離の確保

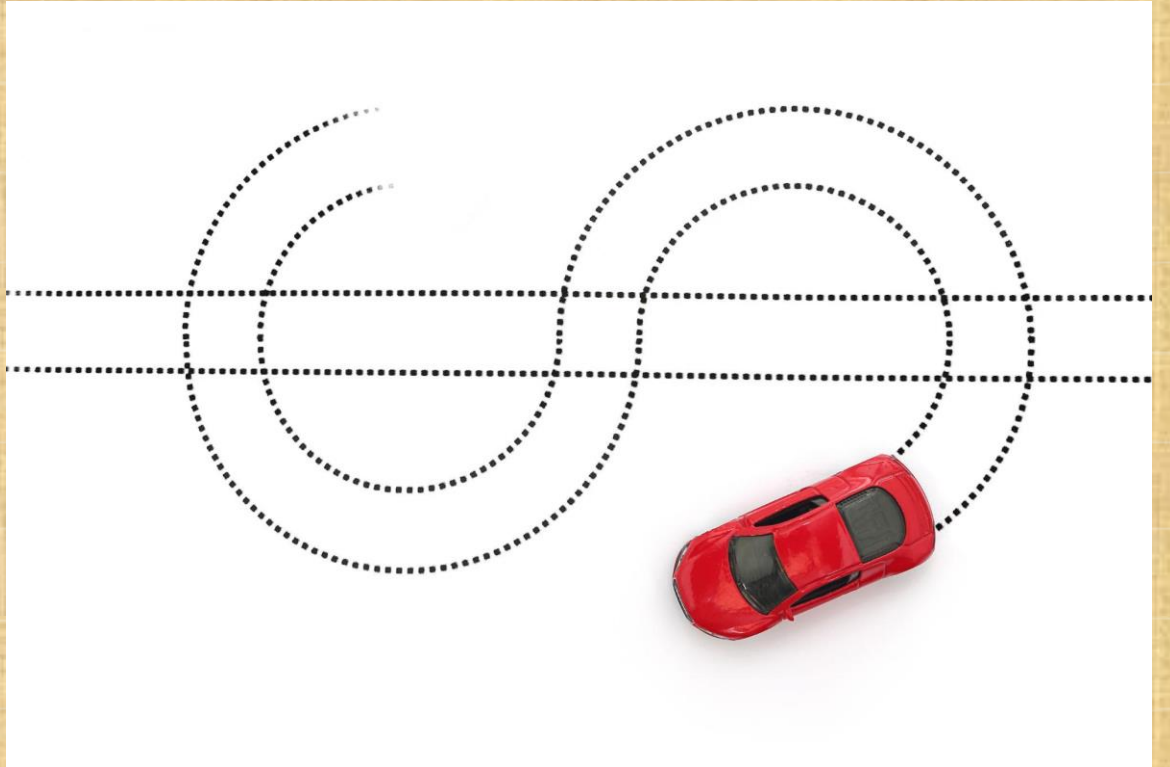
十分な車間距離を保ち急ブレーキや急ハンドルを避けることで危険回避の余裕を作ります。

- ・かもしれない運転の意識

交差点では歩行者や自転車を常に想定し注意深く運転することが重要です。

- ・悪天候時の慎重運転

天候や道路状況が悪い時は速度を落とし、安全第一で慎重に運転します。



※交通労働災害防止のためのガイドライン



\\

まとめ

/

安全意識の重要性と行動へのつなげ方

- ・ 基本動作の遵守

基本動作を確実に守ることで荷役作業の事故を防止し、安全を確保します。

- ・ 交通安全のポイント

体調管理や休憩、余裕を持った運転が交通労働災害の予防に重要です。

- ・ 安全意識の共有

職場での声かけや情報共有により、全員で安全意識を高める必要があります。

- ・ 事故の原因理解

事故は小さな油断の積み重ねで起こるため、日々の意識が重要です。

